

平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	260		
部 局 名	産業観光部	所 属 名	インバウンド・国際交流室
事務事業名	00650 国際親善推進事業	所 属 長	川島 英和
		記 入 者	山田 創

＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	大津市国際化推進大綱
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り	関連する個別計画	
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします		
	施策	02	多文化共生・国際交流の推進		
	視点	01	国際交流の推進		
重事	01	姉妹都市・友好都市等との交流の推進			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計		評価対象事業	国際親善推進費	
	一般会計		人件費事業	嘱託職員雇用経費	
事業の概要	姉妹・友好都市を始めとする諸外国との友好親善を図るため、外国人来訪者の受け入れ等に対応する。 また、学校等において国際文化理解教室等を開催し、市民の国際感覚の向上を図る。				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()				

＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	諸外国の文化や風習に対する理解を深め、グローバル化社会に対応するため
対象 (何又は誰を)	市民を対象に
手段 (どのようなやり方で)	姉妹友好都市等を始めとする諸外国との友好親善を図るほか、国際文化理解教室を開催することにより
成果 (どのような状態にするのか)	相互理解を深め、国際性豊かな感覚を身に付ける

＜3. 経費＞ DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		1,104	860	2,042	5,237	4,463	
人件費 B		5,531	6,830	5,625	5,625	5,625	
事業費合計 A+B		6,635	7,690	7,667	10,862	10,088	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	9	4	4	0	頒布代「近江八景の幻影」
	一般財源	6,635	7,681	7,663	10,858	10,088	
職員数(人)		0.91	1.06	1.00	1.00	1.00	
職員数の内訳	正規	0.55	0.70	0.50	0.50	0.50	
	嘱託	0.36	0.36	0.50	0.50	0.50	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	諸外国からの訪問団受入回数	回	目標	5	5	5	5	5
				実績	4	6	6	-	-
	公式訪問者受入回数								
	2	国際文化理解教室の開催回数	回	目標	65	65	65	65	65
実績				104	131	141	-	-	
学校・園訪問や出前講座における開催回数									
成果指標	1	諸外国からの訪問者受入人数	人	目標	30	30	30	30	30
				実績	56	64	41	-	-
	公式訪問者受入人数								
	2	国際文化理解教室の受講者数	人	目標	2,000	2,030	2,050	2,050	2,050
実績				3,010	3,629	3,729	-	-	
教室の受講者数									

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	諸外国の社会情勢等は不安定などところもあるが、姉妹友好都市を含む諸外国からの訪問者が増加しており、市民主体での交流希望は多いと推測される。		
これまでの見直しや改善等の経過	市民主体の交流を促進するため、諸外国との連絡調整を積極的に行っているほか、学校や園等における国際文化理解教室を開催している。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input type="checkbox"/> A. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	諸外国からの訪問団との市民交流を促進しているほか、国際文化理解教室の開催により、市民に国際文化に触れる機会を提供できている。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	訪問団の受入れ人数・教室参加人数共に目標を上回っており、特に国際文化理解教室の開催については利用が伸びている。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	市民部や教育委員会など他部局との連携により、事業を効率よく推進できている。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	訪問団との交流や国際交流員による教室を通じて、市民の国際意識の向上に貢献できている。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	平成31年度より本業務の一部を大津市国際親善協会に委託を行う。市では市民主体の交流を促進するため、諸外国からの訪問団受入に際し、連絡調整等を行う。
部局長コメント	学校等における国際文化理解教室の開催や、市民団体等の国際交流活動により、市民の国際意識は深まってきていると考えており、今後も主として市民主体の国際親善交流に努めること	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標達成率	指標1 186.66 %	213.33 %	136.66 %
	指標2 150.50 %	178.76 %	181.90 %
成果増減率	指標1 - %	+14.28 %	-35.93 %
	指標2 - %	+20.56 %	+2.75 %
活動単位コスト	指標1 1,658 千円	1,281 千円	1,277 千円
	指標2 63 千円	58 千円	54 千円
成果単位コスト	指標1 118 千円	120 千円	187 千円
	指標2 2 千円	2 千円	2 千円
コスト増減率	- %	-2.27 %	+14.61 %

平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	261	
部 局 名	産業観光部	所 属 名
事務事業名	00648 国際親善協会組織強化事業	所 属 長
		記 入 者
		川島 英和
		山田 創

＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	関連する個別計画
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします		
	施策	02	多文化共生・国際交流の推進		
	視点	02	多文化共生社会への取組		
重事	01	多文化共生の推進			大津市国際化推進大綱

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会 計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計		評価対象事業	大津市国際親善協会組織強化事業費	

事業の概要
市内最大の民間国際交流団体である（公財）大津市国際親善協会の運営を支援することにより、市民主体の国際交流、国際協力活動等の推進を図るもの。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他（ ）

＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	市民主体の国際交流、国際協力活動を推進するため
対象 (何又は誰を)	(公財) 大津市国際親善協会を対象として
手段 (どのようなやり方で)	補助金交付等、運営に対する支援を行い
成果 (どのような状態にするのか)	地域の国際化と市民の多文化に対する理解の促進を図る。

＜3. 経費＞ DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		10,803	14,546	17,336	7,065	18,897	
人件費 B		1,663	1,684	2,812	2,812	2,812	
事業費合計 A+B		12,466	16,230	20,148	9,877	21,709	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	5,300	1,200	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	12,466	16,230	14,848	8,677	21,709	
職員数(人)		0.30	0.30	0.50	0.50	0.50	
職員数の内訳	正規	0.15	0.15	0.25	0.25	0.25	
	嘱託	0.15	0.15	0.25	0.25	0.25	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	1	会員登録ボランティア数	人	目標	115	115	115	115	115	
				実績	114	137	133	-	-	
	国際親善協会会員でボランティア登録している人数									
	2				目標					
実績										
成果指標	1	ボランティア活動参加者数	人	目標	160	170	170	170	170	
				実績	187	228	200	-	-	
	ボランティア登録者で実際に協会ボランティア活動に参加した人数									
	2				目標					
実績										

平成31年度 事務事業評価シート

[平成30年度事後評価]

整理番号	262				
部局名	産業観光部	所属名	インバウンド・国際交流室	所属長	川島 英和
事務事業名	00654	多文化共生推進事業	記入者	山田 創	

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	大津市国際化推進大綱
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人々が集うまちを創り		
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします	関連する 個別計画	
	施策	02	多文化共生・国際交流の推進		
	視点	02	多文化共生社会への取組		
重事	01	多文化共生の推進			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計		評価対象事業	多文化共生推進事業費	
事業の概要	国際化の進展に伴い外国籍市民が増加する中で、国籍や民族などの異なる人々が互いの文化的差異を認め合いながら地域社会の一員としてともに生きていく「多文化共生」社会の実現を目指す。				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()				

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	地域に住む外国人が安心して暮らせる環境を整備し、外国人との共生社会を実現させるため
対象 (何又は誰を)	日本語によるコミュニケーションが困難な外国人や日本人市民を対象に
手段 (どのようなやり方で)	行政文書の多言語化や窓口等への通訳派遣などを行うほか、関係団体との多文化共生推進事業の共催等による啓発活動の充実を図ることにより
成果 (どのような状態にするのか)	地域住民としての外国人に平等な行政サービスを提供することができるほか、日本人市民の異文化理解力や異文化コミュニケーション能力の向上を図ることができる

< 3. 経費 > DO

		平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 予算額(千円)	令和2年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		486	286	514	1,530	1,530	
人件費 B		4,721	4,370	4,862	4,862	4,862	
事業費合計 A+B		5,207	4,656	5,376	6,392	6,392	
事業費の財源内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	5,207	4,656	5,376	6,392	6,392	
職員数 (人)		0.81	0.76	0.75	0.75	0.75	
職員数の内訳	正規	0.45	0.40	0.50	0.50	0.50	
	嘱託	0.36	0.36	0.25	0.25	0.25	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	翻訳・通訳サポーター登録数	人	目標	106	108	108	108	108
				実績	108	94	88	-	-
	翻訳・通訳のサポーター登録をしている人の数								
	2	関係団体との共催事業の実施回数	回	目標	5	5	5	5	5
実績				3	10	13	-	-	
多文化共生推進にかかる共催事業実施回数									
成果指標	1	行政文書翻訳件数	件	目標	90	95	100	100	100
				実績	118	115	115	-	-
	行政文書を翻訳した件数								
	2	多文化共生推進事業への参加人数	人	目標	1,200	1,300	1,400	1,400	1,400
実績				2,063	1,771	1,895	-	-	
主催・共催事業への市民の参加人数									

< 5. 評価 > CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	本市における在住外国人数は横ばい状態であるが、国籍や在留資格などの多様化が進んでいる。	
これまでの見直しや改善等の経過	大津市行政文書翻訳・通訳サポーター制度等の周知を図るなど、多文化共生への対応を進めてきた。また、多文化共生推進用冊子を学校等で配布するなど、市民の意識啓発に取り組んでいる。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input type="checkbox"/> A. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	在留外国人に対し活動しやすい環境を提供し、外国人を地域の一員として受け入れるために必要な事業である。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	関係団体との共催事業の実施回数及び多文化共生推進事業への参加者数は共に目標値を上回っており、市民の多文化共生に関する関心が高まっていると判断できる。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input checked="" type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	翻訳・通訳は市民ボランティアにより支えられている。また、関係団体と多文化共生推進事業を共催することにより、コストをかけずに事業を推進できている。
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input type="checkbox"/> A. 貢献している <input checked="" type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	大津市行政文書翻訳・通訳サポーター制度等によりスムーズな外国人対応ができており、多様な文化が共生するまちづくりに貢献できている。
---------	--	--

< 6. 今後の方向性 > ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 4. 終了 ()	<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ()
	<input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止 <p>平成31年度より本業務の一部を大津市国際親善協会に委託を行う。今後も市民ボランティアによる行政文書の多言語化や窓口等への通訳派遣を行うとともに、関係団体との多文化共生推進事業の共催等による啓発活動を進める。</p>		
部局長コメント	日本語によるコミュニケーションが困難な外国人籍の市民も、公平に行政サービスを享受出来るよう進めること		

< 7. 評価分析 > ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区 分		平成28年度	平成29年度	平成30年度
目 標	指標 1	131.11 %	121.05 %	115.00 %
	指標 2	171.91 %	136.23 %	135.35 %
成 果	指標 1	- %	-2.54 %	±0.00 %
	指標 2	- %	-14.15 %	+7.00 %
活動単位	指標 1	48 千円	49 千円	61 千円
	指標 2	1,735 千円	465 千円	413 千円
成果単位	指標 1	44 千円	40 千円	46 千円
	指標 2	2 千円	2 千円	2 千円
コスト増減率		- %	-2.04 %	+11.68 %